

PLUS

コピーボード M-12シリーズ

PLUS TOOL BOX

ソフトウェア操作説明書



この度は弊社の製品をご購入いただきまして、誠に有難うございます。

コピーボードM-12／M-125の付属ソフトウェア**PLUS TOOL BOX** に関して、機能を十分にご活用いただくために、ご使用前に本紙ソフトウェア操作説明書をよくお読みください。なお、お読みになった後も必ず保管してください。

目次

はじめに	3
ソフトウェアPLUS TOOLBOXとは.....	3
動作環境	3
著作権・使用許諾.....	4
パソコンとの接続.....	5
付属CD-ROMのメニュー画面（M-12 setup launcher）の内容.....	5
ソフトウェアのインストール.....	6
インストールの前のご確認	6
PLUS TOOLBOXのインストール.....	6
PLUS TOOLBOXのアンインストール.....	8
メニュー画面の名称とはたらき	9
パソコンから本機を操作する.....	12
機器設定	15
ヘッダー／フッターの作成と編集.....	18
画面各部の名前と働き	18
ヘッダー／フッターを新規作成する	21
本機内蔵のヘッダー／フッター情報を更新する.....	24
本機内蔵のプログラムを更新する	26
セキュリティの設定について.....	27

商標について

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

その他、記載されている商品名、会社名は、各社の登録商標、または、商標です。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 別売品のプリンタは本機の周辺機器として使用されることを前提としておりますので、パソコンと直接接続して使用する場合の動作保証はいたしておりません。
- (6) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

はじめに

ソフトウェア PLUS TOOLBOX とは

ソフトウェア「PLUS TOOLBOX」は本機とパソコンとを直接USBで接続し、読み取りデータをTWAINドライバを使ってパソコンに転送し、パソコンに画像データとして保存したり、また、パソコンから本機の動作環境やセキュリティの設定を操作することができるソフトウェアです。

ご注意

- セキュリティ設定は、本機のUSBメモリ/PC接続にセキュリティの設定ができます。管理者以外の人解除したり無許可で設定できないように、また、パスワードの管理などの面を考慮して本機では、弊社へのお問い合わせにてこのセキュリティ機能が使えるようになりますのでご了承ください。
また、セキュリティ設定はUSBメモリ経由で行うこともできます。

動作環境

対応OS： Microsoft Windows 2000 Professional (Service Pack 4以上) /
XP (Home Edition / Professional Edition Service Pack 2以上) /
Vista (32bitバージョン)
対応PC： 上記OS が動作するIBM PC/AT 完全互換機
CPU： PentiumⅢ 1.2GHz 以上のプロセッサ
メモリ： Windows 2000 (128MB以上)、
Windows XP (256MB以上)、
Windows Vista (512MB以上)
コネクタ： USBポート(タイプA)、インターフェースはUSB1.1およびUSB2.0 対応
空きHD 容量： 40MB 以上 (画像保存領域を除く)
表示解像度： 800 x 600 ピクセル以上
周辺機器： CD-ROMドライブ、標準のUSBポート
Webブラウザ： Internet Explorer 6.0以上

ご注意

- 上記の動作環境ですべての動作を保証するものではありません。
- Windows 95/98SE/Me/NT/2000 Server /Server 2003 /Vista (64bitバージョン) には対応していません。

著作権・使用許諾

◆著作権

本ソフトウェアおよび関連著作物の著作権は、プラスビジョン株式会社(以降、弊社)が有し、日本国著作権法及び国際条約により保護されています。

Copyright (C) Since 2008 PLUS Vision Corp. All rights reserved.

弊社TOOLBOX、ヘッダー/フッターソフトウェアは、独立行政法人情報処理推進機構が提供するフォントを使用しています。付属CD-ROMの文書ファイルは、その使用に関する使用許諾契約書です。

必ずソフトウェア使用許諾契約をよくお読み頂き同意される場合にのみご使用ください。

※付属CD-ROM内の文書ファイル「一般利用者向けIPAフォント使用許諾契約書」をご確認ください。

◆免責・保証範囲

本ソフトウェアおよび関連ソフトウェアによる生成物が、直接または間接的に損害を生じたとしても、弊社は一切の責任を負いません。また、機器や媒体が原因の損害にたいしても、弊社は一切の責任を負いません。

さらに、弊社は本ソフトウェアを使用した結果の影響に関しても、一切の責任を負わないものとします。

◆使用条件および配布条件

- ・弊社は本ソフトウェアの使用または使用不能によって生じたあらゆる損害について、いかなる責任も負いません。
- ・弊社は本ソフトウェアについてのサポート、あらゆる種類の保証、障害の修正やバージョンアップの継続等のいかなる義務も負いません。
- ・以上に同意する限り、非営利目的での個人利用、社内利用は自由です。
- ・ここにいう「本ソフトウェア」とは実行ファイルだけでなく、ヘルプや添付文書も含むすべての構成ファイルのことです。

◆サポート

質問、要望、障害報告等の声に応えたり、各種の情報提供を行うのを一括してサポートと呼ぶこととし、弊社のサポートの範囲は、本ソフトウェアの機能、操作に限らせていただきます。

本ソフトウェアをご利用される上で生じる問題は、パソコン本体に起因するもの、OSに起因するもの、他のアプリケーションソフトウェアに起因するもの、その他周辺機器に起因するものなど多岐にわたります。よって弊社は、本ソフトウェアに起因する問題のみをサポートするものとします。また、本ソフトウェアは、ハードウェアやソフトウェアの技術的進歩により事前の予告なしにバージョンアップすることがあります。お客様は弊社が定める方法により、本ソフトウェアのバージョンアップ品を受取り、使用することができます。なお、バージョンアップは上記使用条件に同意されたお客様にのみに限られます。

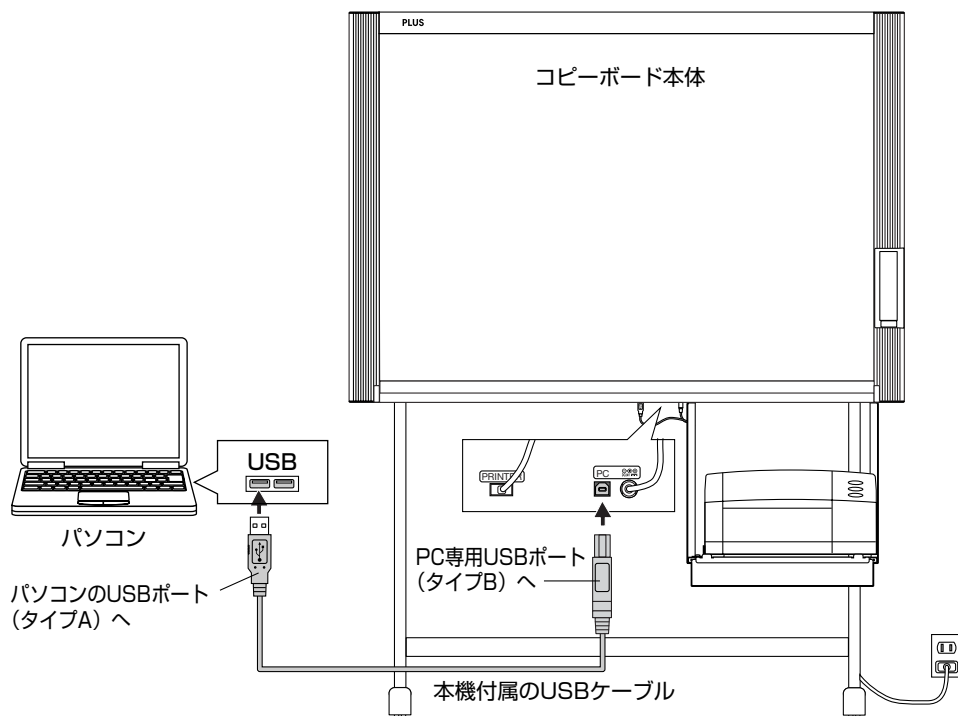
※本ソフトウェアをホームページからダウンロード、またはCD-ROMからインストールしたときをもって、お客様は各条項に同意したものとみなされます。

パソコンとの接続

本ソフトウェアを使うには、本機とパソコンとのUSB接続が必要です。

ご注意

- ソフトウェアをインストールする前は、本機をパソコンと接続しないでください。
- 2台以上のコピーボードを1台のパソコンに接続しないでください。



付属CD-ROMのメニュー画面 (M-12 setup launcher) の内容

付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると自動的にメニュー画面が表示されます。

■ ソフトウェアのインストール

クリックするとインストーラが立ち上がり「PLUS TOOLBOX」と「TWAINドライバ」が同時にインストールされます。

■ 取扱説明書（本体）

クリックすると取扱説明書（PDF形式）が開きます。

■ 取扱説明書（ソフトウェア）

クリックするとPLUS TOOLBOXソフトウェア操作説明書（PDF形式）が開きます。

■ Acrobat Reader

PDF形式のファイルを閲覧するソフトウェアです。

PDF形式のファイルが開けない場合は、メニューの「Acrobat Reader」をクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

※ CD-ROMの閲覧

CD-ROMの内容をパソコンのエクスプローラを使って表示します。

※ 著作権・使用条件

著作権および使用条件などを開きます。



ソフトウェアのインストール

付属CD-ROMのメニューから「ソフトウェアのインストール」を選択すると「PLUS TOOLBOX」と「TWAINドライバ」および「USBドライバ」とがインストールされます。

インストールの前のご確認

1. 使用するパソコンが動作条件を満たしているか確認してください。
2. 使用するパソコンと本機がUSB接続されていないことを確認してください。
3. インストールの際は、Windows 2000の場合は「Administrator」の権限（管理者権限のあるユーザー）でWindows XP/Vistaの場合は「コンピュータの管理者」の権限（アカウント）でインストールしてください。
4. 実行中の他のアプリケーションを全て終了してください。

PLUS TOOLBOXのインストール

1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入します。

自動的にメニュー画面が表示されます。

自動で表示されない場合は、CD-ROMを開き「autorun.exe」をダブルクリックしてください。

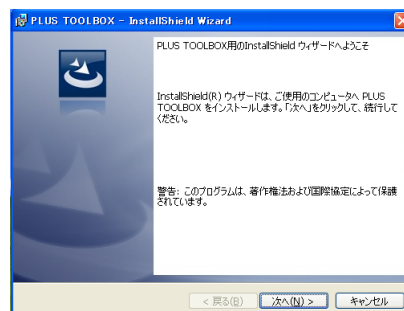
2 「ソフトウェアのインストール」をクリックする。

インストーラが立ち上がります。



3 インストーラの指示に従ってインストールを行います。

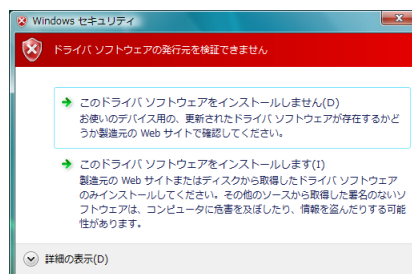
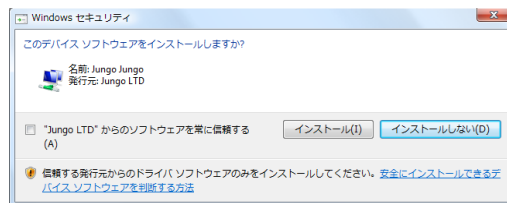
「PLUS TOOLBOX」と「TWAIN ドライバ」、「USBドライバ」が同時にインストールされます。



お知らせ

※ Windows Vistaの場合はWindowsセキュリティダイアログが表示されます。
「このドライバソフトウェアをインストールします(I)」を選択してください。

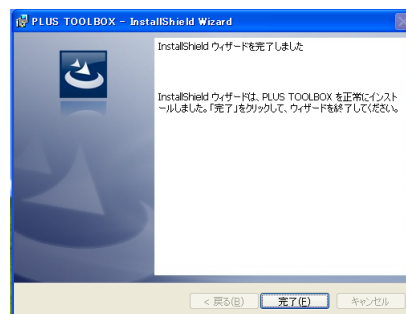
※ Windows Vistaの場合はインストーラを起動する度にユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。「続行」を選択してインストールを続けてください。



4

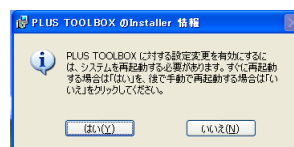
「完了」をクリックします。

「インストーラ情報ダイアログ」が表示されます。



「はい (Y)」をクリックし、パソコンを再起動してください。

はじめて、本ソフトウェアをパソコンにインストールした場合は、続けて次の接続と操作を行ってください。



■ USBドライバのインストール

インストーラでUSBドライバはパソコンにインストールされますが、USBポートとの関連付けが完了していません。PLUS TOOLBOXを使えるようにするには、コピーボード接続時に下記の手順でインストールしてください。

準備

1. 本体の電源 ① ボタンを押して電源を入れてください。
2. パソコンのUSBポートと本体のPC専用USBポートとをUSBケーブルで接続してください。接続は5ページをご覧ください。

「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。

「新しいハードウェアの検索ウィザード」に従ってインストールしてください。

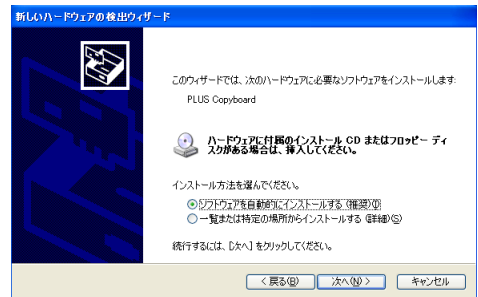
1

「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)(I)」を選択して「次へ(N) >」をクリックします (Windows XPの場合)。

USBドライバのインストールを開始します。

お知らせ

※ Windows2000/Vistaの場合は自動でインストールが完了します。



2

「完了」をクリックします。

これで本ソフトウェアが使える状態になりました。



PLUS TOOLBOXのアンインストール

1

「スタート」→「コントロールパネル」を選択するとコントロールパネル画面が表示されます。

使用するパソコンと本機がUSB接続されていないことを確認してください。

2

「プログラムまたはアプリケーション (OSによって異なります) の追加と削除」ダブルクリックすると「プログラムの追加と削除のプロパティ」画面が表示されます。

3

一覧表示の中から PLUS TOOLBOX を選択し「削除」をクリックすると追加と削除ウィザード画面が表示されます。

4

ウィザードの「削除」のラジオボタンを選択し「次へ」をクリックするとアンインストールが開始されます。

お知らせ

※ Windows XP/Vistaの場合は、「プログラムの追加と削除」となります。

※ Windows Vistaの場合はアンインストーラを起動する度にユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。「続行」を選択してアンインストールを続けてください。

メニュー画面の名称とはたらき

専用ソフトウェア「PLUS TOOLBOX」のインストールが終わっているパソコンと本機とを接続すると「PLUS TOOLBOX」のメインメニューが表示されます。



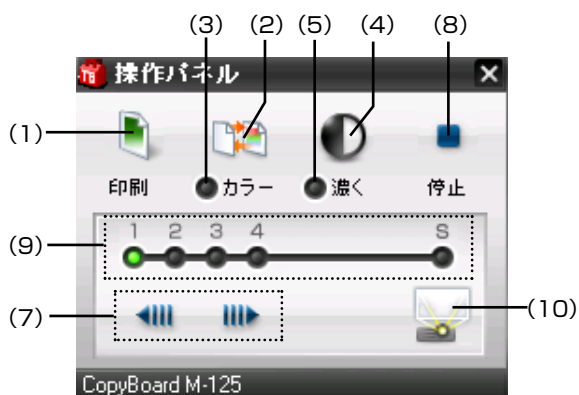
① 操作パネルボタン

パソコンから本体を操作するときに使います。クリックすると本体と同じ動作をする操作パネルを開きます。お使いのコピーボードによって操作パネルが異なります。

【型名 M-12S/M-12W】



【型名 M-125】



操作方法は本体の取扱説明書をご覧ください（下記は取扱説明書のボタン／表示ランプの名称です）。

- | | |
|------------------------------------|--|
| (1) 印刷ボタン
本機とプリンタを接続した場合に動作します。 | (7) ページ切り替えボタン |
| (2) カラーボタン | (8) 停止ボタン（本体にはありません）
シートのスクロール中にクリックするとページの始めの位置で停止します。 |
| (3) カラーモード表示ランプ | (9) ページランプ |
| (4) コピー濃度ボタン | (10) スクリーンボタン |
| (5) 濃度モード表示ランプ | |
| (6) 送り／停止ボタン | |

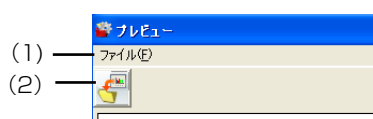
操作パネルを閉じるときは  をクリックします。

② スキャン開始ボタン

本機に描いた文字や図形をパソコンに取り込むときにクリックします。

本機のシート面が移動して1面分の読み取りを開始し、パソコンに転送されます（転送中は転送状況を表示）。

転送が終わるとプレビュー画面を表示します。12ページ参照



(1) ファイル

転送された画像（プレビュー表示の画像）をパソコンに保存する、またはパソコンに接続されているプリンタで印刷する場合にクリックします。プルダウンメニューを表示します。

(2) 保存ボタン

クリックすると転送された画像（プレビュー表示の画像）をパソコンに保存します。

③ 設定ボタン

クリックすると設定画面を表示します。

設定画面には、「機器設定」「ヘッダー／フッター」「本体アップデート」「セキュリティ」のタグがあります。タグをクリックすると、クリックした画面に変わります。

ご注意

「セキュリティ」を設定する場合には、弊社の「お問合せセンター」にお問い合わせください。

機器設定：

本機の動作環境を設定します。15ページ参照

ヘッダー／フッター：

ヘッダーおよびフッターの新規作成や編集する場合に使います。18ページ参照

本体アップデート：

本機内蔵のプログラムを更新する場合に使います。26ページ参照



④ (ヘルプ)

操作説明を表示します。

⑤ (最小化)

メニュー画面を最小化し、タスクバーにアイコンが表示されます。

⑥ (閉じる)

プログラムを終了します。

⑦ **デバイス表示**

接続中の機種名を表示します。

パソコンから本機を操作する

本機のシート面に描いた文字や図形の画像データをパソコンに直接取り込むことができます。
保存した画像データ（画像形式 JPEG, PNG, PDF）は参加者にメールで配付したり、お持ちのソフトウェアを使って会議資料を作成することができます。

型名：M-12Sを例に説明します。

1

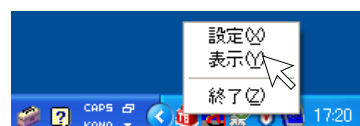
本機の電源を入れ、パソコンを立上げてからUSB接続をする。

パソコンに「PLUS TOOLBOX」のメインメニューを表示します。

- PLUS TOOLBOXはタスクトレイに常駐しており、本機を接続すると自動的にメインメニューが表示されます。



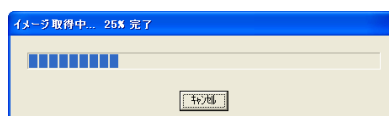
- タスクトレイのPLUS TOOL BOXアイコンを右クリックして「表示」でメインメニューを表示することもできます。



2

現在のシート面の画像を取り込む場合 スキャン開始ボタンをクリックする。

本体から転送が開始され、転送状況バーが表示されます。



中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。



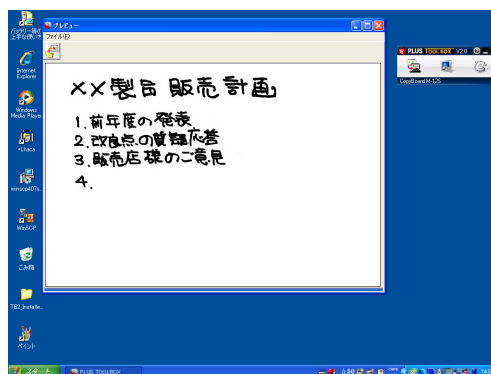
●他のシート面を取り込む場合

操作パネルボタンをクリックする。

- ①送り／停止ボタン（M-125はページ切り替えボタン）をクリックして取り込みたい面を出します。
- ②閉じるアイコンをクリックして操作パネルを閉じて、メインメニューに戻し、スキャン開始ボタンをクリックします。



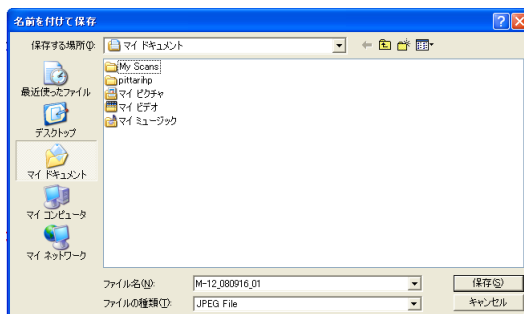
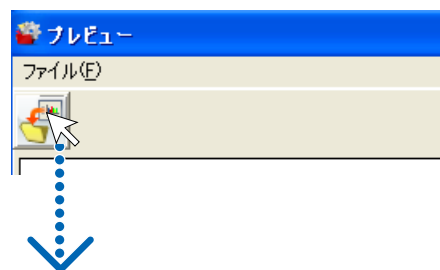
転送が完了すると「プレビュー表示」画面に変わります。



3

(保存) をクリックして保存する

- 始めて保存する場合はクリックすると「名前を付けて保存」ボックスを表示します。
「保存する場所」「ファイルの種類」を選択し、ファイル名を入力してから「保存」ボタンをクリックします。
ファイルの種類は「▼」ボタンをクリックして「PNG」「JPG」「PDF」を選択します。
- ファイル名は「機種名+日付+連番」(例：M12-081021_01)が自動で表示されます。必要があれば変えてください。
- 同じファイル名の保存データがある場合は上書き保存されます。
- 新規フォルダを作成する場合は「新しいフォルダの作成」アイコンをクリックし、新規作成フォルダにフォルダ名を入力してから「開く」をクリックします。
次にファイルの種類を選択し、ファイル名を入力してから「保存」をクリックします。
- メニューバーの「ファイル」からは「上書き保存」または「名前をつけて保存」が選択できます。



これで本機のシート面の画像データが保存できました。

この保存画像を使って会議報告書や資料を作成することができます。

4

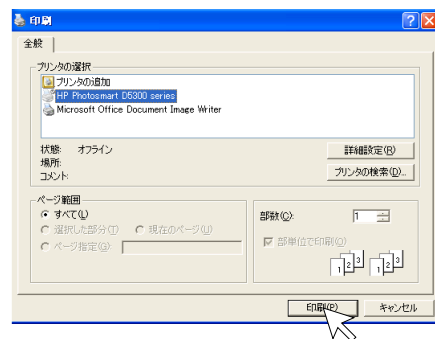
印刷する場合

印刷はパソコンと接続しているプリンタで印刷を行います。

- ① メニューバーの「ファイル(E)」から「印刷(P)」を選択してください。
パソコンの印刷設定画面を開きます。
- ② 「印刷」ボタンをクリックすると選択した画像を印刷します。
用紙サイズや向き、カラー印刷の品質などは、「詳細設定」ボタンをクリックして表示された画面で設定できます。
この画面は、プリンタにより異なります。

お知らせ

- ヘッダー／フッターの情報を作成して印刷できます。(18ページ参照)
- 本体とプリンタを接続している場合、この機能で本体と接続しているプリンタから印刷することはできません。



5

終了する

メインメニューの  アイコンをクリックするとプログラムが終了します。

これでUSBケーブルをパソコンから抜くことができます。

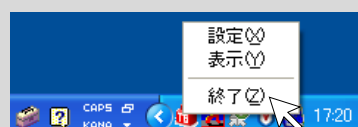


ご注意

他のTWAIN対応アプリケーションソフトを使用し画像データを取り込む場合のご注意

PLUS TOOLBOX が起動中、または、タスクトレイに常駐中に、他の TWAIN 対応アプリケーションソフトから、画像データを取り込む際、エラーメッセージ「USB をオープンできませんでした」が表示されます。

この場合は、タスクトレイのPLUS TOOLBOX アイコンを右クリックし、PLUS TOOLBOX を終了させてから、画像取り込みを開始してください。



機器設定

本機の動作環境の設定をパソコンから行います。工場出荷時は下記に設定されています。

機器設定項目	設定内容	工場出荷状態
日付時刻設定	日付時刻スタンプの年月日と時刻を設定	日本標準時間
画像形式	USBメモリに保存する画像の形式を設定する JPEG/PNG/PDF	PNG
用紙サイズ	A4/レター	A4
比率指定	印刷する画像の比率を設定する 板面のイメージ通り/用紙サイズに合わせる	用紙サイズに合わせる
消し忘れ防止	裏面シートの消し忘れ防止機能 あり/なし	なし
カラーモード禁止	カラーモードでの印刷・保存を無効にする 無効/有効	無効
解像度	メモリ保存画像およびPC接続時の転送画像の解像度の選択 標準：読み取り画像の縦・横の1/2サイズ 高解像度：読み取り画像の縦・横の1/1サイズ	標準
ヘッダー/フッター (日付時刻タイムスタンプ)	工場出荷時：印刷・保存時の日付時刻の書き込み あり/なし オリジナル編集時：ヘッダー/フッター情報の出力 *	あり

* ヘッダー/フッター情報の一部に日付時刻タイムスタンプを、任意で表示ができます。
工場出荷時は日付時刻スタンプのみ表示します。

1

本機の電源を入れ、パソコンを立上げてからUSB接続をする。

パソコンに「PLUS TOOLBOX」のメインメニューを表示します。



2

〔設定〕ボタンをクリックする。

〔機器設定〕画面が表示されます。



3

目的の項目をクリックして選択する。

ラジオボタンは ☐ をクリックすると ☒ に変わります（項目内で1つのみ選択できます）。

●印刷設定

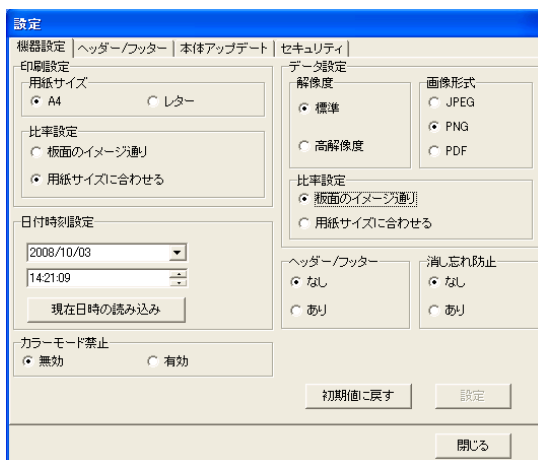
本機とプリンタを接続した場合に動作します。

用紙サイズ

A4用紙サイズで印刷するかレターサイズで印刷するかを選択です。

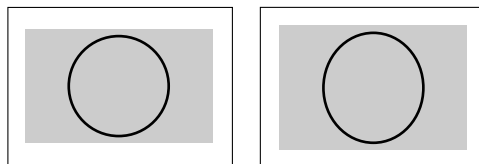
お知らせ

本機と接続するプリンタは、弊社が指定するプリンタ機種のみ接続できます。



比率設定（型名：M-12W）

ワイドタイプのコピーボードのときのみ選択できます。
印刷するときの画像の縦／横の比率（アスペクト）の選択です。
「板面イメージ通り」は本機シート面と同じ比率で印刷されます。
「用紙サイズに合わせる」はA4サイズまたはレターサイズ用紙の比率に横方向を圧縮して印刷します（例：正円は楕円になります）。

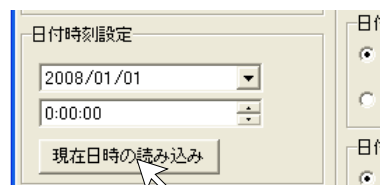


●日付時刻設定

現在の日付と時刻の設定です。

現在日時の読み込み

「現在日時の読み込み」をクリックすると、パソコンの現在時刻の表示に変わります。このため、日付時刻の設定が不要となります。



日付の設定方法

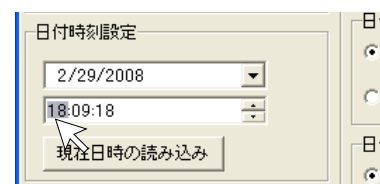
1. 日付欄の「▼」をクリックするとカレンダーを表示します。
2. カレンダーの「◀」または「▶」をクリックして今日のカレンダー（西暦と月）を選びます。
 - ・12月のとき「▶」をクリックすると次ぎの西暦にかわります。
 - ・1月のとき「◀」をクリックすると前の西暦にかわります。
3. 今日の日付をクリックします。
 - ・クリックするとカレンダーが閉じ、今日の日付が変わります。



時刻の設定方法

工場出荷時には時刻は日本標準時間に設定されています。
本機の時刻は24時間表示です。「▲」をクリックすると戻り、「▼」クリックすると進みます。

1. 時刻欄の「時（例：18）」をクリックすると「時」にグレイのカーソルが表示されます。
2. 時刻欄の「▲」または「▼」をクリックして現在の「時」を選びます。
3. つづけて「分（例：09）」をクリックすると「分」にグレイのカーソルが移ります。
4. 「▲」または「▼」をクリックして現在の「分」を選びます。
5. つづけて「秒（例：18）」をクリックすると「秒」にグレイのカーソルが移ります。
6. 「▲」または「▼」をクリックして現在の「秒」を選びます。



お知らせ

- 時刻は「設定」ボタンをクリックしたときから設定時刻が開始されます。

●カラーモード禁止

シート面を読み取るときにカラーで読み取るか／モノクロで読み取るかの設定です。カラーモード禁止を「有効」にすると、印刷、USBメモリ保存、パソコンへの転送画像がモノクロ（グレイの階調）になります。

無効：カラーモードで読み取ります。

有効：モノクロモードで読みとります。

●データ設定

解像度

USBメモリ保存画像およびPC接続時の転送画像の解像度の選択です。

標準 : 読み取り画像の縦・横が1/2サイズになります。高解像度選択時の1/4の画像データ量になります。

高解像度 : 読み取り画像の縦・横が1/1サイズになります。標準選択時よりきれいな画像になります。

画像形式

USBメモリに保存する画像形式JPEG（拡張子 .jpg）、PNG（拡張子 .png）またはPDF（拡張子 .pdf）の選択です。

PC接続時のスキャン画像は取得データ保存時に選択できます。

●比率設定（型名：M-12W）

ワイドタイプのコピーボードのときのみ選択できます。

USBメモリ保存画像およびPC接続時の転送画像の縦／横比率（アスペクト）の選択です。

「板面イメージ通り」は本機シート面と同じ比率になります。

「用紙サイズに合わせる」はA4サイズまたはレターサイズの比率に横方向を圧縮します（例：正円は楕円になります）。

●ヘッダー/フッター

日付時刻スタンプの書き込み（工場出荷時）、または本体に格納しているヘッダー/フッター情報を出力するか、しないかの設定です。

なし：ヘッダー/フッター情報を出力しません（日付時刻スタンプも含む）。

あり：印刷、USB保存、PC接続時の転送画像の全てにヘッダー/フッター情報を出力します。

お知らせ

- 用紙の上下の余白にタイトルや社名、日付等の文字や画像を入れてどのページも同じ情報の印刷をします。これをヘッダー（上部情報）・フッター（下部情報）といいます。本ソフトウェアで作成して本体に格納しておきます。作成方法は「ヘッダー/フッターの作成と編集」（18ページ）をご覧ください。
- プリンタの機種によっては、実際の画像イメージと異なる配色になることがあります。

●消し忘れ防止

本体のシート裏面に描かれた文字や図形の消し忘れをお知らせする設定です。機密性のある会議などに効果的です。

なし：消し忘れ機能は動作しません。（工場出荷時の設定）

あり：電源ボタンを押して電源を切ると、本体操作パネルの表示窓と全ての表示ランプが同時に点滅し、未消去面まで自動的に移動してから、電源が切れます。（型名：M-125の場合、未消去面の先頭へ移動してから電源が切れます）。

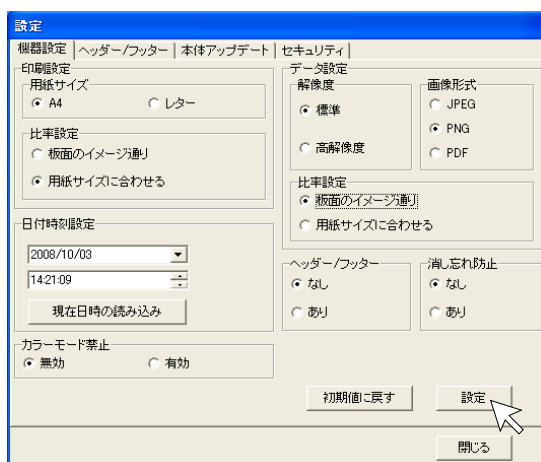
お知らせ

- シート溶着部の汚れ、マーカーの消し残しによっては、正しく消し忘れ防止機能が動作しない場合があります。

4 [設定] する。

目的の項目の設定内容を確認し、よければ「設定」ボタンをクリックします。

- 変更をしない場合は「閉じる」をクリックしてください。変更内容がキャンセルされます。
- すべての設定を工場出荷状態に戻す場合は「初期値に戻す」をクリック後、「設定」をクリックしてください。

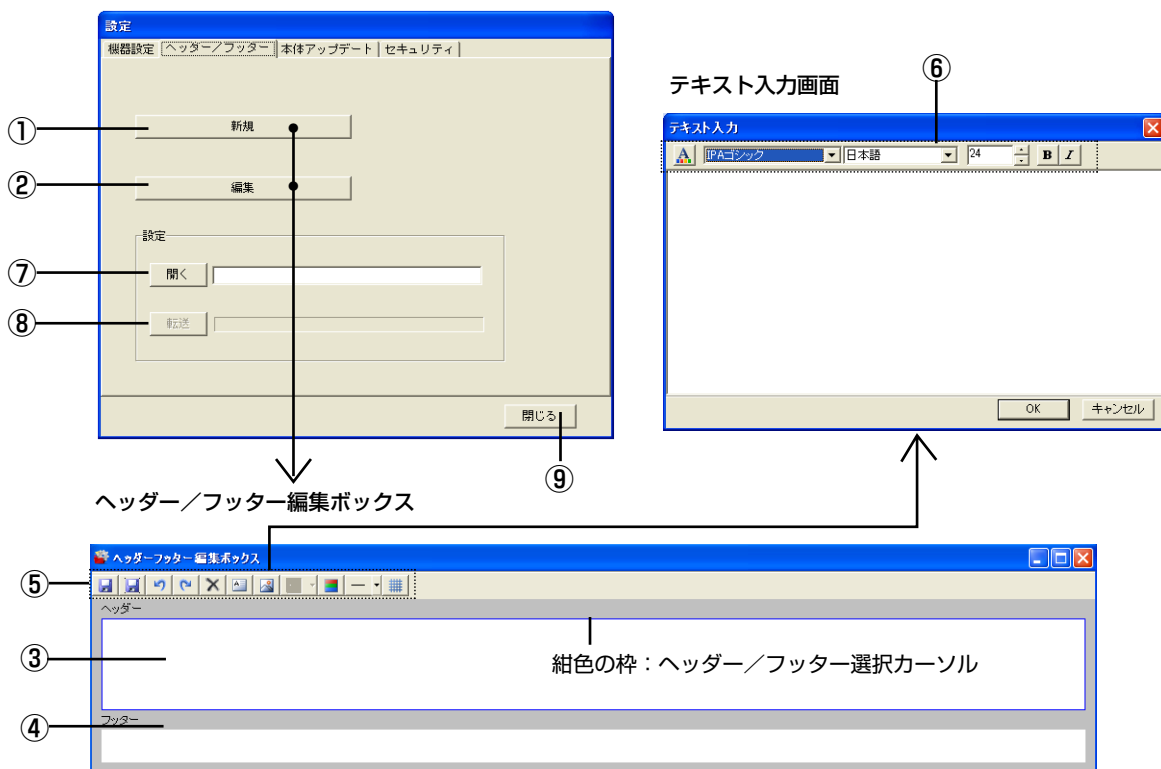


ヘッダー/フッターの作成と編集

印刷用紙や取得画像の上下に社名やロゴ等を印刷または表示させるヘッダー／フッターの作成と編集です。
工場出荷時は日付時刻スタンプのみ本体に登録されています。
TOOLBOXで作成したヘッダー／フッター情報を更新して、ヘッダー／フッター機能を「あり」に設定すると印刷、USBメモリ保存、パソコンへの転送画像にいつも同じ情報を表示することができます。
本体と接続していなくても作成と編集は行えます。

画面各部の名前と働き

TOOLBOXメニューの〔設定〕→〔ヘッダー/フッター編集〕をクリックすると「ヘッダー/フッター編集」画面を表示します。



●ヘッダー／フッター編集ボックス

① 新規ボタン

新規にヘッダーおよびフッターを作成するときにクリックします。「ヘッダー／フッター編集ボックス」を開きます。

② 編集ボタン

パソコンに保存しているヘッダー／フッターファイル（拡張子 .hfd）を編集するときにクリックします。
パソコンの「ファイルを開く」画面でヘッダー／フッターファイルを選択すると「ヘッダー／フッター編集ボックス」を開きます。

③ ヘッダー編集ボックス／④フッター編集ボックス

ヘッダーおよびフッターの文字や画像を挿入します。ヘッダーとフッターの入力切り替えは文字ボックスや画像ボックス以外の所をクリックすると、ヘッダー／フッター選択カーソルが移動します。

⑤ ツールボタン



名前をつけて保存

パソコンの「名前をつけて保存」画面が開きます。



上書き保存

編集内容を書き替える場合に使います。編集前のファイルを開いていない場合は、アイコンがグレイで表示し選択できません。



元に戻す (Undo)

編集した内容を直前の操作から順に戻します（2回まで）。

ヘッダー／フッターの作成と編集

やり直し (Redo)

「元に戻す」で戻した操作を順に再び実行します。

削除

選択した図形/画像や文字ボックスを削除します。

テキスト追加

テキスト入力画面を開きます。この画面を使って文字を入力しフォントの種類や文字の大きさなどを選択します。下記「テキスト入力のツール」をご覧ください。
テキスト入力の [OK] をクリックすると編集ボックスの左上にテキストボックスとして配置されます。

- ・編集ボックスのテキストボックスをダブルクリックするとテキスト入力画面を表示します。文字を修正する場合にダブルクリックします。
- ・テキストボックスは透過です。後ろの画像や文字が見えます
- ・テキストボックスは複数配置できます。

イメージの挿入・編集

パソコンの「ファイルを開く」画面が開きます。挿入可能なフォーマットはBMP, JPEG, PNG, GIF, WMF, EMFです。
画像を選択して決定すると編集ボックスの左上に画像ボックスとして配置されます。

- ・画像ボックスは複数配置できます。
- ・画像ボックスは非透過です。後ろの画像や文字がかくれま

日付時刻の挿入

ヘッダー編集ボックスまたはフッター編集ボックスのどちらか1箇所に挿入できます。
[▼] をクリックしてプルダウンメニューから日付時刻の表示形式を選択します。

表示形式	スタンプ例
YYY/M/D/ HH:MM	2008/10/5 13:25
DD-MMM-YYYY HH:MM	05-Oct-2008 13:25
MMM-DD-YYYY HH:MM	Oct-05-2008 13:25

日付時刻の挿入をクリックすると、ヘッダー編集ボックスは右下、フッター編集ボックスは右上に挿入されます。

- ・挿入すると日付時刻の挿入ボタンはグレイになり選択できなくなります。
- ・日付時刻は非透過で最前面に表示されます。
- ・フォントやサイズなどは固定で配置のみ調整できます。

ヘッダー、フッター背景色指定

クリックすると背景色選択メニューを表示します。48色の中から目的の色をクリックするとヘッダー編集ボックスまたはフッター編集ボックスのボックス一杯に選択した色で塗りつぶします。

- ・背景色は複数配置できます。
- ・グリッド線を表示しているとき編集ボックス全面を背景色にする場合は、グリッド線が見えなくなりますので、画像やテキストボックスの配置調整が終わってから背景色を挿入してください。

仕切り線の挿入

[▼] をクリックしてプルダウンメニューから線幅（細、中、太）を選択します。
仕切り線の挿入をクリックするとヘッダー編集ボックスは下部、フッター編集ボックスは上部にボックス幅一杯に挿入されます。

- ・仕切り線は複数配置できます。
- ・仕切り線の色は変更できません。

グリッド線の表示

テキストや画像ボックスなどの配置用のグリッド線です。

- ・グリッド線は保存できません。
- ・グリッド線は1番後に表示されます。

- 画像・図形（仕切り線／背景色）・テキストを挿入すると各々ボックスとして編集ボックスに配置されます。

このボックスはサイズを変更したり重ね順を入れ替えることができます。20ページ参照

⑥ テキスト入力ツール

文字色の設定

クリックすると文字色選択メニューを表示します。256色中から目的の色をクリックするとテキスト入力ボックス内全部の文字色が変更されます。

フォントの指定

[▼] をクリックしてプルダウンメニューからフォントを選択します。テキスト入力ボックス内全部のフォントが変更されます。

言語の指定

[▼] をクリックしてプルダウンメニューから入力言語を指定します。テキスト入力ボックス内全部のフォントが変更されます。

ご注意 テキスト入力中に言語の設定を「日本語」から「欧文」に変更すると入力画面がリセットされます。

24 フォントサイズの指定 [▲] または [▼] をクリックして文字の大きさを指定します。

テキスト入力ボックス内全部のサイズが変更されます。

・ 数字はポイントです。

・ ヘッダー編集ボックスまたはフッター編集ボックスの高さを超えるサイズは指定できません。

B 太字の指定

クリックするごとに [太字] と [標準] が交互に変わります。テキスト入力ボックス内全部のテキストが変更されます。

I 斜体の指定

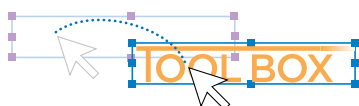
クリックするごとに [斜体] と [標準] が交互に変わります。テキスト入力ボックス内全部のテキストが変更されます。

● サイズの変更と重ね順の入れ替え



オブジェクトの選択

※オブジェクトとは画像・テキスト・仕切り線・背景・日付時刻を示します。クリックすると挿入したオブジェクトにボックス枠と調整ポイントを表示します。



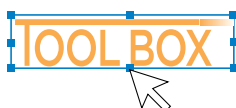
オブジェクトの移動

オブジェクトをドラッグします。



オブジェクトの左右方向の調整

左右どちらかのポイントをドラッグします。



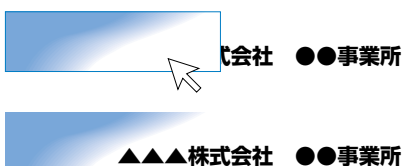
オブジェクトの上下方向の調整

上下どちらかのポイントをドラッグします。



オブジェクトの拡大／縮小

隅のいずれかのポイントをドラッグします。



オブジェクトの重ね順の変更

挿入画像は非透過でテキストは透過します。下にあるテキスト等を重ねて表示するには、オブジェクトを右クリックします。重ね順メニューを表示しますので [最前面に移動] または [最後面に移動] を選択します。

・ グリッド線と背景色の表示順は固定です。重ね順を変更することはできません。

⑦ 開くボタン

パソコンの「ファイルを開く」画面を表示します。

本体へ更新するヘッダー／フッターのファイル（拡張子 .hfd）を選択してください。

※本体とパソコンがUSB接続されていることと本体の電源が入っていることを確認してください。

⑧ 転送ボタン

本体へヘッダー／フッター情報を転送します。

転送が開始され、転送状況バーで進捗状況を知らせます。転送中本体の表示窓は「HF」を点滅します。

転送が完了すると確認画面を表示しますので [OK] をクリックします。

次に本体の「保存」ボタンを押すと本体の表示窓は「H1」表示にかわり更新が完了します。

本体のいずれかの操作ボタンを押して通常モードに切り替えます。

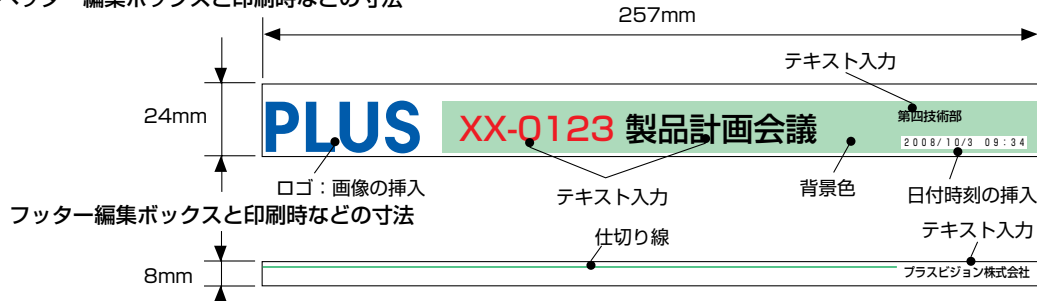
⑨ 閉じるボタン

設定画面を閉じます。

ヘッダー／フッターを新規作成する

次のサンプルで説明します。ヘッダー／フッターは本体と接続していなくても作成や編集は行えます。

ヘッダー編集ボックスと印刷時などの寸法



※ロゴはパソコンで画像を作成し、画像フォーマットBMP、JPEG、PNG、GIF、WMF、EMFのいずれかで保存しておきます。

1

ヘッダー／フッター編集画面に切り替える。

本体とUSB接続している場合：

「PLUS TOOLBOX」の「設定」ボタンをクリックして設定画面を開き、「ヘッダー／フッター編集」タグをクリックします。



本体と接続していない場合：

タスクトレイのPLUS TOOL BOXアイコンを右クリックして“設定”を選択します。
「機種選択」画面でお使いの本体の機種名を選択して、[OK] をクリックします。

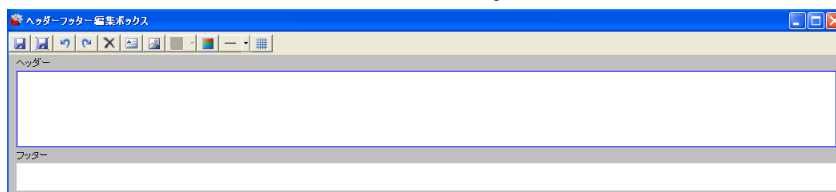
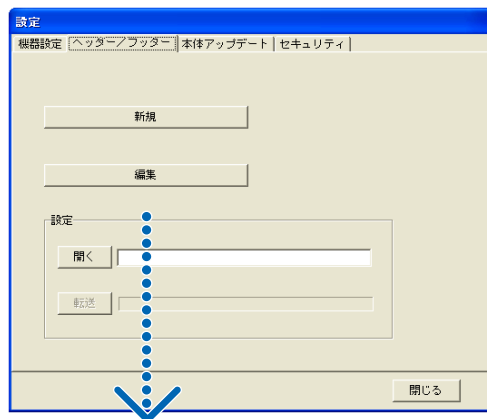


2

ヘッダー／フッター編集ボックスに切り替える。

新規に作成する場合は「新規」をクリックします。

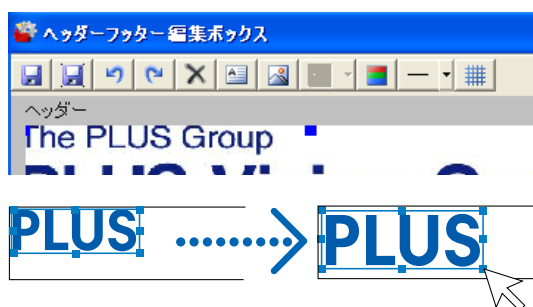
すでにパソコンにファイルを保存していて修正などを加える場合は「編集」をクリックします。
ファイルを開く画面を表示しますので「.hfd」の拡張子がついたファイルを開きます。



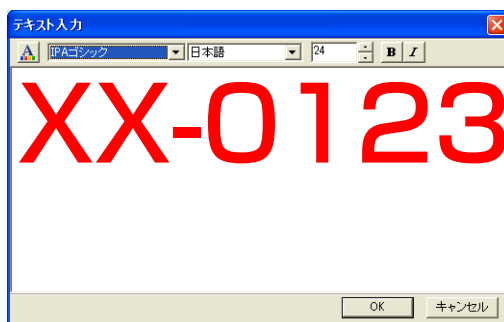
3 ヘッダーおよびフッターを作成する

開いたときはヘッダー編集ボックスが選択されています。フッターを作成する場合はフッター編集ボックスをクリックしてください。紺色の枠がフッターに移動します。

- ①  (イメージの挿入) をクリックしてパソコンの「ファイルを開く」画面から目的の画像を選択します。画像が編集ボックスの左上に配置されます。位置や大きさを調整します。20ページ「サイズの変更と重ね順の入れ替え」参照



- ②  (テキスト追加) をクリックしてテキスト入力ボックスを開き、文字を入力して  (文字色指定) をクリックして文字色を指定し、[OK] をクリックします。テキストが編集ボックスの左上に配置されます。位置を調整します。文字と画像が重なり合っている場合は、文字を前面に出します。20ページ「サイズの変更と重ね順の入れ替え」参照



- ③ 他のテキストも同じ要領で入力配置します。文字サイズや文字色等を変える場合は各々作成します。

PLUS XX-0123 製品計画会議

第四技術部

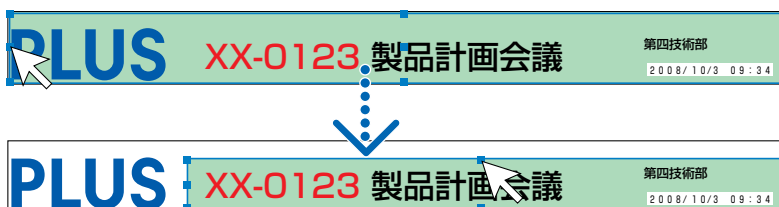
- ④  (日付時刻の挿入) の [▼] をクリックして日付時刻の表示形式を選択してから  (をクリックします。編集ボックスの右下に挿入されます。日付時刻ボックスは常に一番前に配置され非透過です。位置の移動は可能です。日付時刻を挿入すると  はグレイになり複数の配置ができないことを示します。

製品計画会議

第四技術部

2008/10/3 09:34

- ⑤  (ヘッダー、フッター背景色指定) をクリックしメニューの中から目的の色をクリックするとヘッダー編集ボックスまたはフッター編集ボックスのボックス一杯に選択した色で塗りつぶします。大きさや位置を調整します。

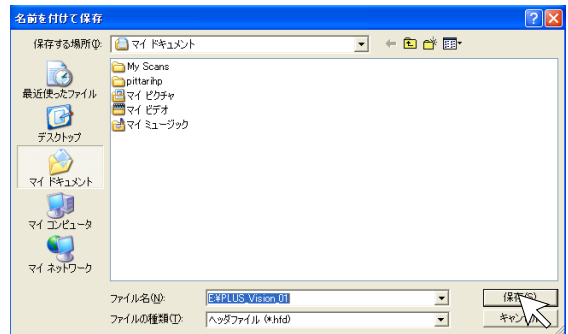


- ⑥ フッターを作成するときはフッター編集ボックスをクリックして紺色の枠を移動させてください。
ヘッダーと同じ要領で作成します。

4

パソコンに保存する

（名前を付けて保存）をクリックします。
パソコンの「名前を付けて保存」画面を表示します。
保存先やファイル名とファイルの種類（ヘッダー／フッターファイルは .hfd です）を設定して［保存］ボタンをクリックします。

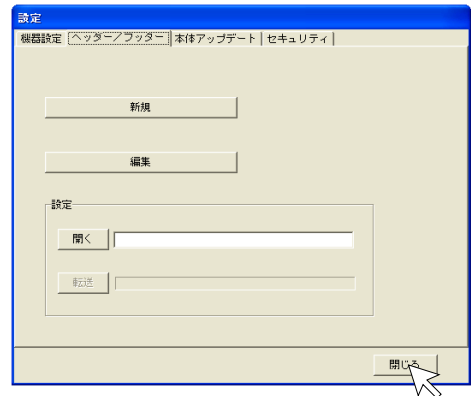


5

終わる

〔設定〕画面の〔閉じる〕ボタンを押して設定画面を閉じ、メインメニューの（閉じる）をクリックして本ソフトを終了させます。

これでヘッダー／フッターの作成が終わりました。
本体のヘッダー／フッター情報を更新してください。
[24ページ参照](#)



本機内蔵のヘッダー／フッター情報を更新する

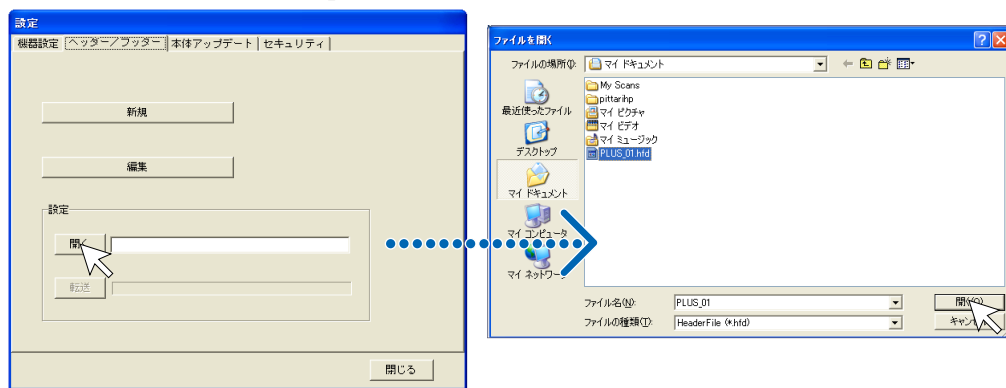
本体とパソコンをUSB接続して本体に転送する方法、USBメモリに保存してUSBメモリを直接本体のUSBポートに挿す方法があります。

本体とパソコンをUSB接続して更新する

1

ヘッダー／フッターファイルを開く

- ① 本体とパソコンをUSB接続してください。接続は5ページ参照
- ② メインメニューの「設定」ボタン→「ヘッダー／フッター」タグをクリックしてヘッダー／フッター画面を表示してください。
- ③ 「開く」をクリックするとパソコンの「ファイルを開く」画面を表示します。目的のヘッダー／フッターファイル（拡張子.hfd）を選択し、「ファイルを開く」画面の「開く」ボタンをクリックします。

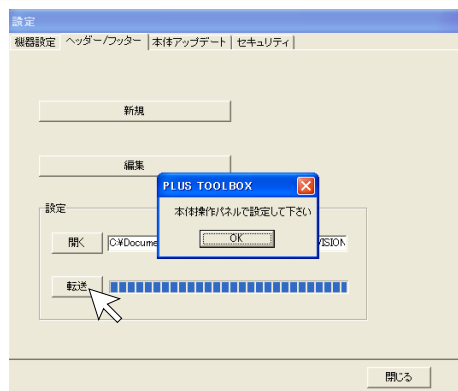


2

ヘッダー／フッターファイルを本体に転送する

- 「転送」ボタンをクリックします。
- 転送を開始します。転送が完了すると確認画面を表示しますので「OK」をクリックします。
- ・転送中本体の表示窓は「HF」が点滅します。

本体への転送は完了しました。
本ソフトを終了するときは14ページの手順5をご覧ください。



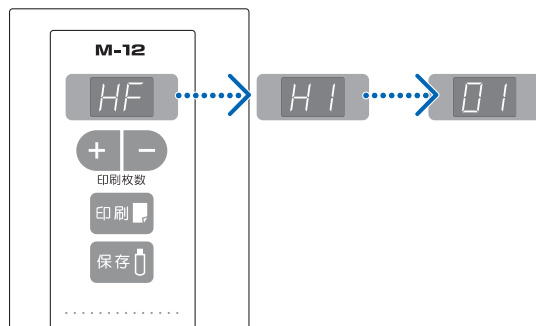
3

ヘッダー／フッター情報を更新する

本体操作パネルの「保存」ボタンを押します。
本体表示窓の「HF」点滅が「H1」表示に変わります。
これで更新が終了しました。

本体操作パネルの「保存」、「送り／停止」（型名：M-125の場合は「ページ切替え」）以外のボタンを押してください。本体表示窓の「H1」が「O1」表示に変わり通常モードになります。

ヘッダー／フッターの初期設定（日付時刻表示のみ）へ戻す場合は、「送り／停止」（型名：M-125の場合は「ページ切替え」）ボタンを押します。
本体表示窓の「HO」表示に変わります。



USBメモリから更新する

① USBメモリにヘッダー／フッターファイルを保存します。
USBメモリのフォルダ内には保存しないでください。本体のUSBポートにUSBメモリを挿すと.hfdファイルを探しに行きますので、フォルダ内に保存すると読み込みができません。また、目的のファイルのみ保存してください。複数のヘッダー／フッターファイルが存在すると読み込めません。

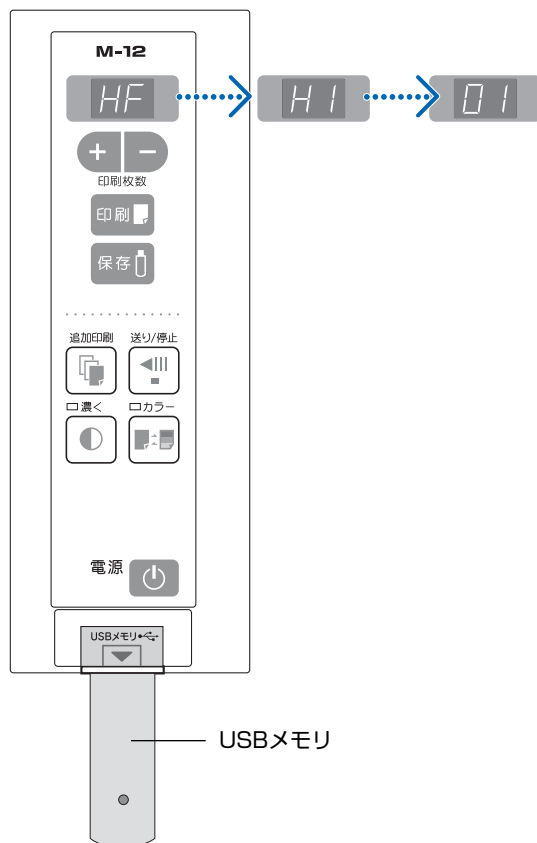
② 保存したUSBメモリを本体のUSBポートに挿します。
ヘッダー／フッターファイルを見つけると本体の表示窓は[H F]を点滅します。

③ 本体操作パネルの[保存]ボタンを押します。
ヘッダー／フッター情報の更新が完了すると本体表示窓が[H 1]に変わります。

本体操作パネルの[保存]、[送り／停止]（型名：M-125の場合は[ページ切替え]）以外のボタンを押してください。本体表示窓の[H 1]が[0 1]表示に変わり通常モードになります。

ヘッダー／フッターの初期設定（日付時刻表示のみ）へ戻す場合は、「送り／停止」（型名：M-125の場合は[ページ切替え]）ボタンを押します。

本体表示窓の[H 0]表示に変わります。



ご注意

ヘッダー／フッター情報を印刷したり、転送画像に付加する場合は[設定] → [機器設定] の[ヘッダー／フッター]を「あり」にしてください（17ページ参照）。

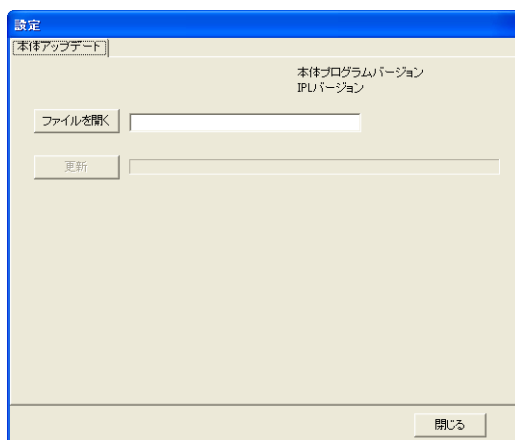
本機内蔵のプログラムを更新する

更新プログラムは、弊社のホームページからダウンロードしてください。

- 準備： 1. 弊社のホームページから「本体アップデート」プログラム“M-12_XX_XX.zip”をダウンロードしてください。
2. M-12_XX_XX.zipを解凍して、プログラムファイル（m12_XX_XX.mot）を保存してください。
- M-125の場合は、m125_XX_XX.motを保存してください。
3. 本体の電源プラグがコンセントに接続されている場合は、抜いてください。
4. 保存したボタンを押しながら、本体の電源プラグをコンセントへ接続してください。
5. 表示窓に「UP」が点滅表示されてから、「本体アップデート」を実施してください。

1

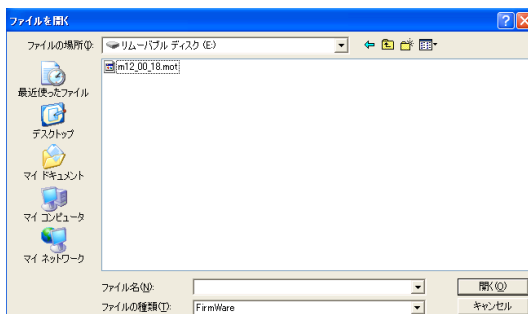
【本体アップデート】画面を表示させる
パソコンと本機をUSB接続すると自動的に【本体アップデート】の画面が表示されます。



2

アップデートファイル
“m12_XX_XX.mot”を開く。

1. 【ファイルを開く】をクリックしてファイルを開く画面を表示させます。
2. M-12のアップデートファイル“m12_XX_XX.mot”を選択し、【開く】ボタンをクリックします。



3

【更新】ボタンをクリックして更新を開始する。

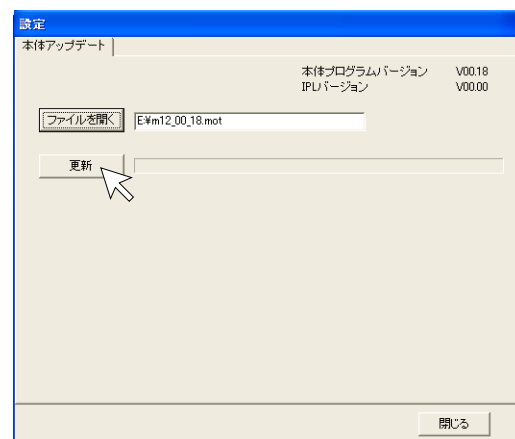
更新中は状況バーを表示します。そのままお待ちください。

更新が終了すると本体操作部の表示窓が「RR」点滅表示になります。

ご注意

更新中は、他の操作（動作）させたり、本体の電源を切ったりしないでください。
本体が故障する場合があります。

本体の表示窓が「RR」点滅表示になってから、一度電源プラグをコンセントから抜いて、再度入れ直してください。



セキュリティの設定について

M-12セキュリティソフトを使用することにより、お使いの機器にUSBメモリ／PC接続／追加印刷に有効、無効の制限をかけることができます。

ソフトウェアの入手につきましては、登録が必要です。

詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.plus-vision.com/jp/>

設定

機器設定 | ヘッダー/フッター | 本体アップデート | セキュリティ

セキュリティソフトを使用することにより、お使いの機器に下記、有効、無効の制限をかけることができます。

パスワード

有効	無効	
☒	☐	USBメモリ
☒	☐	PC接続
☒	☐	追加印刷

設定

保存

保存先

ソフトウェアの入手につきましては、登録が必要です。
詳しくは弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.plus-vision.com/jp/>

閉じる

PLUS Vision Corp.

プラスビジョン株式会社

〒206-0811 東京都稲城市押立 1033-1

www.plus-vision.com

プラスビジョンお問合せセンター

TEL ☎ 0120-944-086

FAX ☎ 0120-331-859

ISO 14001 認証取得

ISO 9001 認証取得